

議会だより

No. 144

苫前郡苫前町字旭 37 番地の 1

発行日 令和 8 年 7 月 28 日

○一般会計補正予算（第 1 号）

追加 6 5 4 9 万 2 千円

総額 5 5 億 2 5 8 万 2 千円

○国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）

追加 4 1 9 万 1 千円

総額 4 億 5 1 3 9 万 9 千円

○一般会計補正予算（第 2 号）

追加 4 3 2 万 9 千円

総額 5 5 億 6 9 1 万 1 千円

令和 8 年第 2 回町議会定例会は、6 月 16 日に招集され、会期を 17 日までの 2 日間と決定した。
町長から予算 2 件、報告 1 件、人事 11 件、追加で予算 1 件、その他 1 件、議員から意見案 5 件、その他 1 件が提出された。
伊藤議員 1 名が一般質問を行った後、提出された議案を全て原案どおり可決し、会期を 1 日残して閉会した。

地域の足腰を強く
ホタテ養殖支援と地域おこしの新展開

（主な補正）

・地域おこし協力隊募集設置等業務委託料	5 8 3 万 5 千円	追加
・経営発展支援事業補助金	3 7 5 万 0 千円	追加
・畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業補助金	1 7 7 万 7 千円	追加
・海業推進事業検討業務委託料	4 2 9 万 0 千円	追加
・ホタテ養殖漁業被害対策事業補助金	2 5 0 0 万 0 千円	追加
・三溪松下沢（幸金橋）橋りょう修繕工事	1 3 5 8 万 5 千円	追加

契約金額

1 億 1 5 9 4 万円
（機械設備更新）

○工事請負契約の締結
浄水場更新工事

令和 8 年 7 月 20 日から令和 11 年 7 月 19 日までの 3 年間

任期
大川 博文（三溪）

能戸 眞悟（力昼）

「一般応募」
鈴木 弘和（長島）

十亀 晃男（東川）

成田 康弘（九重）

仲谷 浩慈（旭）

大矢根 幸弘（香川）

伊藤 芳史（長島）

伊藤 幸弘（香川）

「地区推薦」
猫島 貴之（長島）

田井 嘉久（岩見）

令和 8 年第 2 回定例会
6 月 16 日

（主な議案）
○繰越明許費繰越計算書
令和 7 年度一般会計の 14 事業
5 億 5 3 5 0 万 2 千円を令和 8
年度へ繰り越し。
○農業委員会委員の選任同意

一般質問

Q ヒグマ対策に正確な出没捕獲情報を 生ごみ処理機購入助成を A 町ホームページを活用し出没情報発信を急ぎ進める 生ごみ出しルールの周知徹底と購入助成の精査継続

質問

伊藤 議員



今年4月には330キロの熊が捕獲され、全国放送により苦前町の知名度も上がったが、一方では苦前は巨大熊の居る怖い町として印象付けられた。町民が安心して暮らせる為の対策について伺う。

1、現在のヒグマ出没及び捕獲情報は、町のホームページにも掲載は無い。「ひぐまつぶ」や「ほくとくんメール」等で、町民はスマートフォンからでも情報を得ることができる。

自転車レンタルを実施しているところとままえ温泉ふわつとや、人の集まる場所には、地図による情報発信が有効と考えるが、情報発信の状況は。

2、熊は嗅覚が非常に優れ、生ごみのおいを嗅ぎつける。昨年、長島地区ではコンポストやごみステーションの生ごみをあさる熊が出没した。生ごみ処

答弁

福士 町長



理機を使用することにより生ごみの臭いを低減することができ。生ごみ処理機購入に対して補助金を支給している自治体もある。再度、生ごみ処理機購入補助金の検討を。

1、ヒグマの出没については、農林水産課が窓口となり、目撃情報をもとに、猟友会、警察等の関係機関と連絡をとったうえで、現場の確認を行い、発生場所、目的、常習性、動向などからその危険性を総合的に判断し、出没場所の町内会や付近住民への声かけ、看板設置による注意喚起の実施、また、駆除すべき有害個体であると判断した場合、「箱わな」などを設置し、捕獲を実施している。

町のホームページ等への出没情報は検討中である。緊急性の

高い情報についてはSNSを活用した発信を実施していたが、住民がいつでも確認できる方法での情報発信とはなっていない。「ひぐまつぶ」は、今後の運用について検討を行う。羽幌警察署との情報共有を一層密にするための協議は終えている。町ホームページを活用した出没情報などの情報発信を急ぎ進めるよう指示した。

捕獲情報は、北海道への報告は行っているが、町外に向けて広く発信をした場合の危険性や動物愛護の観点などから、慎重に検討。捕獲情報は町民の安心材料のひとつでもあり、今後は町の公式ラインを活用すること、発信相手を限定した方法による捕獲情報の発信について、検討を進める。

2、生ごみ処理機購入助成を行っている自治体のほとんどが、ごみの減量化を第一の目的に挙げている。生ごみ処理機は、電気代や一定額の維持費と定期的なメンテナンスが必要。また最近では、生ごみ処理機購入助成そのものを廃止する自治体も現れている。設置の6割以上が未使用等、ヒグマ対策として継続して有効活用できるかどうか

難しい面があり、本町としては、生ごみを含む家庭ごみは必ず収集日の朝に出すなどといった基本ルールを町民に周知徹底を優先する。

しかし、昨年度の内部検討時から約半年の間に、新たな処理方式を採用した処理機が登場するなど、機種も増加傾向にあり、国や北海道及び各自治体の動きや民間企業の取り組み状況を注視しながら鋭意情報収集を図り、生ごみ処理機購入助成実施を検討するかどうか、費用対効果も含め、今後も精査を続けていく。

ヒグマを引き寄せないための対策

- 1、生ごみは絶対に放置しない！
- 2、コンポストの適切な管理に努めよう！
- 3、家のまわりに餌になるものを放置しない！
- 4、お墓参りの後は、お供え物を必ず持ち帰ろう！

委員会レポート

臨海地域特別委員会

6月5日

○令和7年度新日本海地域交流センター事業報告

総務産業常任委員会

6月5日

○古丹別地区多世代交流・多機能型拠点施設整備事業



町民のいこいの場

○令和7年度ふるさと応援寄附金に関する報告

寄付額	4680万2千円
寄附件数	1555件
総経費額	2338万円
活用可能額	2342万2千円

○介護施設等経営改善・従事者処遇改善等緊急支援事業
熱中症対策として、介護施設

等の利用者の安全、安心を確保することを目的とした、介護保険事業費補助金により、壁掛けエアコン等の設置に要する費用の一部を補助する。

・補助対象事業者
認知症対応型グループホームセルフ3号館 1号棟・2号棟

○畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業
労働力不足や環境変化に対応するため、てん菜の褐斑病抵抗性品種の導入や直播向上により生産性を高め、農家経営の安定と産地体制構築を図る。

事業費 177万7千円

○有害鳥獣被害対策

野生鳥獣による農水産物被害及び地域住民の安全確保を図るため、各種鳥獣被害対策を実施・アライグマ、エゾシカ対策

①アライグマ捕獲奨励金
4月から6月までを対象期間とする。

②電気柵購入
・ヒグマ対策

ヒグマパネル展、ヒグマ対策講習会、ヒグマ出没対応訓練の実施、ヒグマ注意看板購入

・ヒグマ対策事業補助金

ヒグマが市街地等に出没した際、安全に対応できる体制を整えるため、緊急時に使用する消耗品等（ゼッケンベスト・プロテクター・クマスプレー）などを購入・整備する。

○新規就農者確保緊急円滑化対策
次世代を担う農業者を志向する者の経営発展に必要な機械施設の導入を支援し、地域の担い手の育成・確保を図る。

総事業費 840万円

○ホタテ養殖漁業被害対策事業
海洋環境の変化で真フグやザラバヤによる被害を受けるホタテ養殖業を守るため、資材の購入経費の一部を補助する。

○海業推進事業

漁港や漁村の地域資源を活用し、地域の賑わいや漁業者の所得向上を目指すもので、漁港の整備に伴うウニ等の蓄養実証や活用方法の検討をはじめ、体験メニュー開発や地元水産物の販売拡大、先進事例調査などを通じて地域水産業の価値を高め、

今後の海業の推進と事業化を図る。

○ななかまどの館事業報告

○三溪松下沢線（幸金橋）橋りょう修繕工事
長寿命化点検で修繕が必要と診断を受けたため。



三溪松下沢線 幸金橋

令和8年第3回臨時会

5月15日

意見書提出

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

(主な議案)

○専決処分の報告と承認

・町税条例の一部改正

○専決処分の報告と承認

・国民健康保険税条例の一部改正

○専決処分の報告と承認

・令和7年度一般会計補正予算(専決第2号)

歳入歳出 144万3千円追加

○物品売買契約の締結

・鳥獣被害防止総合対策事業

電気柵 31,010m

契約金額 1830万2千円

○教育委員会委員の任命同意

秋山 貴人(古丹別)

任期 令和8年6月1日から令和9年9月30日まで

○物品売買契約の締結

・町立歯科診療所 診療台ユニット

ト(苫前・古丹別各1台)

契約金額 1365万6千円

○動産の取得

・ロータリ除雪車1台

契約金額 3947万9千円

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣・国土交通大臣・デジタル大臣・内閣府特命担当大臣(こども政策)

少子化対策若者活躍 男女共同参画、共生・共助)

地方財政の充実・強化に関する意見書

〔提出先〕

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣・国土交通大臣・デジタル大臣・内閣府特命担当大臣(こども政策)

少子化対策若者活躍 男女共同参画、共生・共助)

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書

〔提出先〕

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣・内閣府特命担当大臣(地方創生担当)

道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改訂版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

〔提出先〕

北海道知事・北海道教育委員会教育長

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道町村議会

議員研修会

日時 令和8年7月2日

場所 札幌コンベンションセンター

講師 関東学院大学法学部

地域創生学科

教授 牧瀬 稔氏

演題 「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」

講師 ジャーナリスト

須田 慎一郎氏

演題 「どうなる政治・経済」

日本再生のために何が必要か」

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

編集後記

今年は60年に一度の丙午の年になります。丙午は馬の中でも圧倒的なパワーを誇り神様が乗る神馬と呼ばれることから、60年に一度の幸運の年と言われていますが、中東情勢の緊迫化により原油価格や物流コストが高騰し、農業関係では肥料・飼料・燃料・生産資材が30%~50%高騰し、今後の農業経営に大きな影響を及ぼしています。また、昨

年秋から続いた米価の高騰も落ち着きを取り戻しつつあります。高値による需要減で在庫がだぶつき、今年度も前年同様の生産量とすると過剰は40万~50万トンに及び、来年6月末の民間在庫量は300万トン近い在庫量となる為、今年は大幅下落傾向になると言われています。

先行き不透明な時代ですが、皆さんと共に健康で暮らしていける町でありたいと思います。

文責 早川 日出利

6月17日

6月26日

検討協議・レイアウト・編集作業

議会報発行特別委員会

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校

北海道立苫前商業高等学校